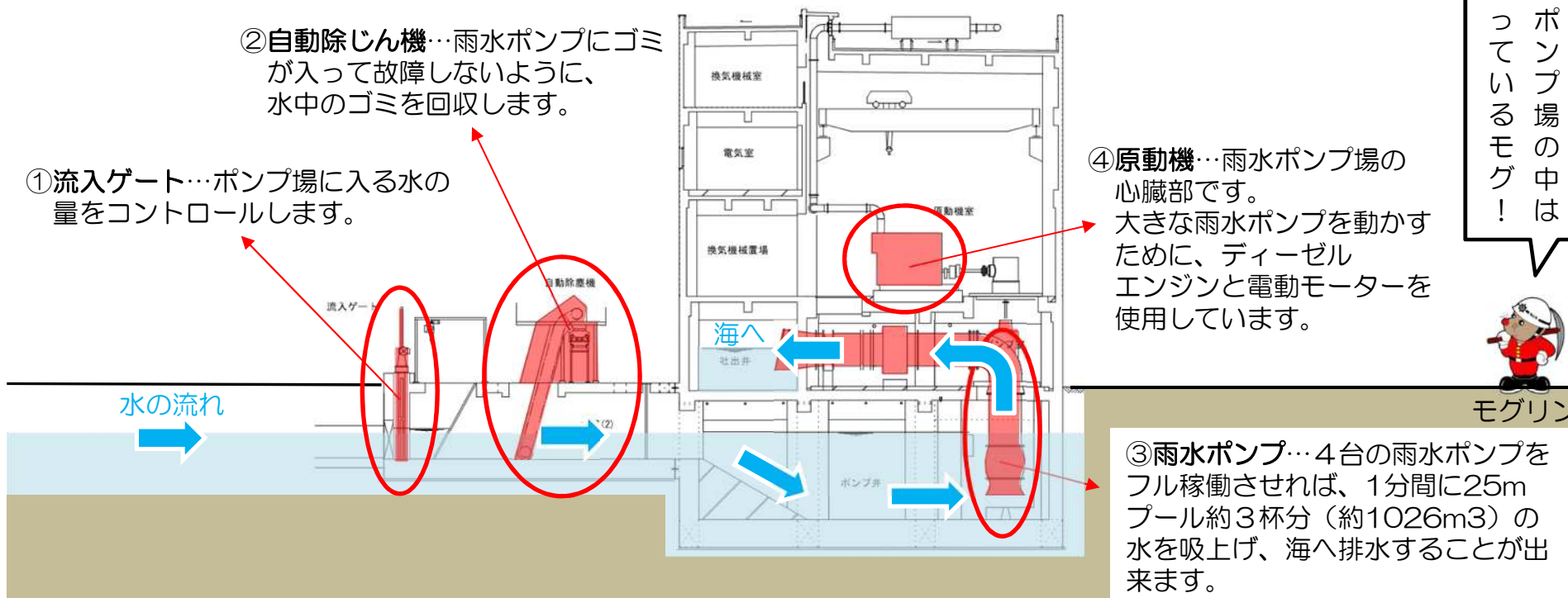


第3号では、新しい岡南ポンプ場のしくみについてお知らせします。

【新岡南ポンプ場のしくみ】

雨水ポンプ場の中には、たくさんの機械が設置されており、それぞれが協力して仕事をしています。ひとつでも欠けてしまうと、雨水ポンプ場として仕事が出来なくなってしまいます。そのため、日ごろから点検や修理、古くなれば更新をして、キチンと動作するよう管理するのも、私たち下水道河川局の仕事です。

新岡南ポンプ場は、「①流入ゲート」を開けることで川の水を取込みます。「②自動除じん機」が水中の水草や空き缶・ペットボトル等のゴミを回収し、「③雨水ポンプ」によって海へと排水します。「③雨水ポンプ」を動かすのが「④原動機」です。「④原動機」は、ディーゼルエンジン型と、電動モーター型の両方を設置します。次ページにて、完成したばかりの「①流入ゲート」をご紹介します。



第3号では、新しい岡南ポンプ場のしくみについてお知らせします。

【流入ゲートについて】

流入ゲートは雨水ポンプ場の玄関ドアとも言える機械で、ポンプ場に取り込む水の量を調節する役割があります。

新岡南ポンプ場の流入ゲートは、幅3.4m、高さ2mの大きさのものが2門、海に近いため、サビに強いステンレスで作られています。基本的に、水をさえぎる「扉体」と、扉体を上げ下げする「開閉機」で構成されます。

